



第1回学校評価へのご協力ありがとうございました

紅葉が錦のように色鮮やかな頃となりました。

平素は本校教育にご協力いただき、誠にありがとうございます。また、7月にはお忙しい中、学校評価アンケートにご回答いただきありがとうございました。保護者のみなさまからの評価とご意見を受け、課題をとらえ、その改善に向けて取り組んでいきたいと考えています。結果から、ぜひご一緒に考えたいという点について紹介させていただきます。多くのみなさまのご意見を大切にし、今後の翔鸞教育に生かしてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

今回のアンケートにつきましては、保護者の皆様から 156 件の回答を頂くことができました。このアンケートではそれぞれの設問に「よく出来ている」「大体できている」「あまり出来ていない」「出来ていない」のどれかを選択しています。そして保護者の質問にのみ「分からない」という選択肢が選べるようになっています。そして「よく出来ている」と「大体出来ている」を合わせたものを本校では、その項目を「達成できている」と考えています。

<確かな学力>	低学年 児童(%)			高学年 児童(%)			保護者(%)		
	よく出来ている	大体出来ている	合計	よく出来ている	大体出来ている	合計	よく出来ている	大体出来ている	合計
人の話を聞くこと	62.5	36.3	98.8	58.8	31.8	90.6	26.6	63.0	89.6
分かりやすい授業であること	43.8	45.0	88.8	54.1	32.9	87.0	39.0	49.7	88.7
自分の思いや考えを書いたり話したりすること	38.8	41.3	80.1	43.5	41.2	84.7	24.9	57.5	82.4
1ヶ月に5冊以上本を読むこと	63.8	21.3	85.1	37.6	28.2	65.8	17.9	30.8	48.7
毎日家で勉強すること	46.3	35.0	81.3	34.1	29.4	63.5	27.7	47.4	75.1

「人の話を聞くこと」については、児童と保護者との差もあまりなく、高い水準にあると考えられます。低学年と高学年を比較すると、高学年の方が少し低い結果となっていますが、実は高学年での「よく出来ている」の回答率が昨年度の同時期よりも10%以上も増加しています。

「1ヶ月に5冊以上本を読むこと」については、やはり高学年と低学年の差が気になると共に、保護者からの評価が低いです。ですが実際には、高学年は昨年度の同時期に比べておよそ6%増加しています。ここ数年の読書不足を課題としてとらえ、本校では毎朝の10分間を「ほんの時間」として全校で読書に取り組んでいます。このことが少しずつですが結果として現れていると思います。ですが一方で、保護者の方からの回答から考えると、家で読書をしていないことが分かります。学校だけの取組でなく家でも読書ができるような手立てを考えていきたいです。

「毎日家で勉強すること」は高学年の結果が低くなっています。昨年度の同時期と比べても、およそ10%減少しています。GIGA端末の活用が進むと共に、端末を利用した家庭学習の割合も増えてきており、とくに高学年ほど多くなっています。従来の様なノートやドリルを使用した家庭学習が減り、端末を利用した学習が増えてきたこともひとつの原因として考えられます。家庭学習についてはその量や質について校内でも検討し、習慣化でき、主体的に進められように検討していきます。

<豊かな心>	低学年 児童(%)			高学年 児童(%)			保護者(%)		
	よく出来ている	大体出来ている	合計	よく出来ている	大体出来ている	合計	よく出来ている	大体出来ている	合計
進んであいさつすること	75.0	10.0	85.0	83.5	9.4	92.9	26.1	60.2	86.3
自分も友だちも大切にすること	83.8	13.8	97.6	71.8	18.8	90.6	39.2	55.7	94.9
学校で楽しく過ごすこと	73.8	21.3	95.1	72.9	17.6	90.5	56.1	39.4	95.5
きまりや約束を守ること	66.3	30.0	96.3	35.3	54.1	89.4	35.1	57.6	92.7
係や当番の仕事を進んですること	70.0	23.8	93.8	68.2	24.7	92.9			
いじめ対策委員を知っていること	35.0	36.3	71.3	37.6	34.1	71.7	21.5	53.5	75.0

「進んであいさつすること」が残念ながら昨年度よりも減少しています。今年度はアンケートの際に「自分から進んでする」、「あいさつをされたらする」、「日によってしない」、「しない」という4つの説明を加えたため結果に変化が現れたのでしょうか、これで実態を正確に把握することができました。今回の結果を元に、「自分から進んであいさつができる子」を育てることを目標にしていきます。

「自分も友だちも大切にすること」については児童も保護者も90%を超えていました。日々の道徳の学習や人権に関わる学習の成果であると考えられます。しかしながら、「あまり出来ていない」、もしくは「できていない」と回答している児童が数%います。何かの困りごとや問題があるとも考えられますので、これらが0%になる様に日々の学校生活の中で子どもたちの変化を見逃さないようにしていきます。

「きまりや約束を守ること」については、残念ながら高学年は昨年度より6%減少し、90%を下回る結果となりました。普段の様子を見ている限りでは、特に変化は感じられませんが子どもたちの思いとしては「あまりできていない」という思いがあるようです。

「いじめ対策委員を知っていること」についてはまだまだの結果です。全校での集会の際に紹介をしているのですが、それだけではあまり記憶には残らないと思います。子どもたちが困ったときにすぐに助けを求められるように、学校全体で見守っていることを繰り返し伝えていきます。

<健やかな体>	低学年 児童(%)			高学年 児童(%)			保護者(%)		
	よく出来ている	大体出来ている	合計	よく出来ている	大体出来ている	合計	よく出来ている	大体出来ている	合計
毎日朝食を食べること	82.5	13.8	96.3	75.3	15.3	90.6	80.0	18.2	98.2
早寝・早起きをすること	30.0	43.8	73.8	22.4	47.1	69.5	44.6	38.2	82.8
安全に気をつけて登校すること	81.3	16.3	97.6	84.7	8.2	92.9	52.3	45.9	98.2
進んで体を動かすこと	50.0	32.5	82.5	55.3	32.9	88.2	40.0	46.6	86.6

「毎日朝食を食べること」についてはアンケートで「しっかりと食べている」、「何かを食べている」、「週に1、2回食べない時がある」、「食べない」の説明を今年度は付け加えました。その結果、「よく出来ている」の数値が昨年度に比べて低学年で9%、高学年で6%減少しました。「達成できている」割合が90%を超えてはいるものの、課題があることが分かります。一日の活動のエネルギーとしてふさわしい朝食をとることを、今後も目標としたいです。

「早寝・早起き」は変化が見られました。高学年では「達成できている」割合が3%増加しましたが、低学年では8%減少しました。学校でも生活リズムの点検を行ったり、保健だよりで「早寝・早起き・朝ご飯」について指導をしたりしていますが低学年ではどんどん「早寝・早起き」ができなくなっています。実際に今回のアンケートで「出来ていない」と回答した児童は低学年で14%、高学年で15%となっており、低学年では昨年度よりも10%増加しています。学校での指導だけでなく家庭でも同じように「10時までに寝て、7時までに起きる」生活を目指したいです。さらに、保護者の数値が児童の数値よりも高いことが気になります。保護者は「子どもが寝た」と思っていても実際には子どもが寝ていないことがあるかもしれません。

「進んで体を動かすこと」については「よく出来ている」の数値が減少しています。というのも、アンケートをとった7月には猛暑による影響で外遊びができる日が続いていました。その事が大きく影響していますが、基本的に翔鸞の子どもたちは体を動かすことが好きだと考えられます。

<学校独自の取組>	保護者(%)		
	よく出来ている	大体出来ている	合計
学校が保護者や地域の方と力を合わせ、子どもたちの安全を見守ること	49.9	46.3	96.2
学校の取り組みが保護者や他の地域の方々に伝わっていること	31.7	60.5	92.2
学校が家庭や地域と連携して活動すること	29.7	64.6	94.3
学校の行事が子どもの成長にとって有意義であること	40.3	56.6	96.9

学校独自の取組についてはほぼ平年通りの結果で、どれも90%を超えています。概ね満足できるのではないかと思われます。しかし、昨年度と比べると「よく出来ている」の割合が1~3%程度減少し、代わりに「大体出来ている」が1~3%程度増加しています。出来ていない訳ではないけれど、例年通りの取組で実態に合っていないかったり、少しマンネリ化していたりする部分があるかも知れません。学校全体の取組を「昨年はこうだったから」ではなく、その時その時の状況を踏まえた上で検討すべきところは検討し、維持するところは維持するといった考え方で学校全体の取組を考えていきたいと思います。

<学校運営協議会の皆様から>*一部抜粋

- ・「分かりやすい授業」という部分を大切にしてほしい。本当ならば100%になるのが正しい姿なので、分からぬ子にも分かる授業をして欲しい。
- ・読書の実態が気になる。家では本を読んでいないのだろうか。学校でだけ読むのではなく、家でも読むような習慣が身に付いて欲しい。
- ・「学校が楽しい」と感じることが何よりも一番大事。そのためには学校も地域も協力して良い学校を作っていくたい。

<自由記述より>*一部抜粋

- ・まめに連絡していただき、過ごしやすい環境を作ってくださいありがとうございます。
- ・友達関係などで少し不安に感じることが増えてきています。お友達からのきつい言葉遣いや、無視、仲間はずれなどもあるようなので、子供のSOSを見逃さないように気をつけています。自分が悲しい気持ちや嫌な気持ちになったことは相手には絶対にしてはダメと子供には伝えていますが、果たしてどこまで伝わっているのかはわかりません。
- ・合同授業や行事を通して、柏野小学校のお友達と顔見知りになれて良いと思います。
- ・先生方地域の方々のおかげで楽しく安心感を持って学校生活を送っています。いつもありがとうございます。